

# 地域密着型サービス事業者 自己評価表

( 認知症対応型共同生活介護事業所 )

事業者名	グループホーム春光	評価実施年月日	平成21年12月11日
評価実施構成員氏名			
記録者氏名		記録年月日	平成22年1月20日

北海道

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
.理念に基づく運営 1. 理念の共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。	職員で作上げた事業所独自の理念があり、毎朝引継ぎ時に職員で唱和し周知徹底に努めている	○ ケア理念に基づいて、地域、町内とさらに連携していきたい
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	毎朝の引継ぎ時に理念を唱和し実践にむけて取り組んでいる	職員が引き継ぎをする場所に理念を掲示しており、毎朝唱和している
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる。	町内会の方、ご家族と運営推進会議を行い理解していただけるよう働きかけ、ご家族には、協力を頂き町内の行事にも参加できるようになり、この地域で一緒に生活されることの理解を得られるよう活動している	○ 町内の方々に見学に来ていただいたり、ご家族とも町内行事に参加できるよう今後も支援していきたい。(町内の消防訓練、焼肉、グリーンコンサート)
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。	町内会に参加させて頂き、回覧板やウエスの協力を得たり、夏にはホーム前にて外気浴を行い、町内の方々と挨拶を交わしている。犬の散歩に通られる方々は玄関先で入居者の方々が触れられるよう配慮して下さっている	
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	地域の行事には出来る限り参加できるよう努めている。ご家族にも協力いただいている	○ 町内の消防訓練、焼肉、グリーンコンサートと、参加させていただいている。今後も盆踊りなど夜間の行事にも参加できればと考えている
6	事業者の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	町内会や、小学校よりウエスの寄付を受けているため、事業所で出来ることを考え、リングブルの収集を始めた	○ リングブルは年に一度町内での収集がある。以前に比べると、入居や現状に対する相談に来られる方も増えている。今後は小学校などから要請があれば、出来る限り貢献したいと考えている

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p>	<p>自己評価は毎日1項目ごと話し合いをすることで、職員間で意義を理解し、また改善点が明確になることを確認している。自己評価することで改めて気づくことが毎年あり、評価の意義を感じている</p>	<p>定例ミーティングでも自己評価の具体的な改善が出来るよう話し合いを持っている。気づいた改善点ですぐに実行できるものは職員間で周知し改善するよう心掛けている</p>
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>	<p>おおむね2ヶ月に1回のペースで会議を開催している。ホームの近況を伝え、地域の動きもお聞きしている。また、ホームに対して要望があればともお伝えしている</p>	<p>会議では、ホームの様子がわかりやすいように、入居者のみなさんが集まっているデイルームで開催し報告を行なっている</p>
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>	<p>市で開催する研修会にはできるだけ参加している</p>	
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p>	<p>研修会には積極的に参加するよう努めている</p>	
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>定例ミーティングなどで身体拘束と合わせて話し合いを行なっている。日々、入居者の身体の観察を行い見過ごさないよう注意をはらっている</p>	<p>定例ミーティング時に、「言葉の暴力」についても職員間で話し合い、防止に努めている</p>
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約の際には、分かりやすい説明を心掛けているが、不明な点や不安な事柄があれば、いつでも説明させていただくことを付け加えている</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
13 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	日々の生活の中で、入居者が何気なく話せるように配慮し、ひとりひとりの意見や不満が解消できるよう努めている		
14 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。	毎月入居者ひとりひとりに担当職員より近況のお手紙を郵送している。また、来訪時や何かあればその都度ご家族には電話連絡をし、報告している。		お手紙には、行事の様子もわかりやすいように写真を掲載し報告している
15 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご家族には来訪時に話す機会をもつようにし、意見など伺っている。改められることはすぐに反映できるよう努めている。運営推進会議でも意見が聞けるよう努めている。外部へ表す機関としては、契約書にも明記し説明している。		
16 運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	日々、意見を取り入れるよう努めている。定例ミーティングでも話し合う機会を設けている		
17 柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	管理者を含め、入居者の状況や行事などに対応できるよう勤務体制を常に整えている。		介護職員の他に、調理員も配置している。入浴は2名で介助できるよう配置している
18 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	同グループ内ではできるだけ異動がない様に配慮している。離職に関しては、離職する職員にも協力してもらい引き継ぎの期間を長く持てるよう配慮し、入居者への影響が少ないように勤めている		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>外部研修、内部研修を段階に応じて受けられるよう、また、定期的に受けられるように機会を設けている</p>	<p>内部研修では、職員が主となってテーマを決め学習できるような形式になっている(緊急時の対応・事例検討など)</p>
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>	<p>同一法人の施設との交流、研修会が主になっている。グループホーム協議会の研修会や地域の包括支援センターとの交流、研修、また居宅介護事業所の来訪などさまざまな交流がもてるように勤めている</p>	<p>研修会へのさらなる参加ができるよう努力していく</p>
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>	<p>管理者、職員が相談・助言を受けやすいようにいつでも環境を整えている。年に数回、職員が交流できるような行事をもうけている。毎週1回は、同グループ系列の職員が参加できるエクササイズを開催している</p>	
22	<p>向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>	<p>毎月把握している。また、人事考課を行なっている</p>	
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>入居前には、ご家族とともにご本人にお会いし、ホームに入居するにあたりさまざまなことに関して話し合いの機会をもっている。ご本人の不安が少しでも和らぐよう努めている</p>	
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>ご家族がわかりやすいような説明に努め、入居に関するさまざまなことに関する話し合いの機会をもっている。入居後も不安なことなどいつでも相談していただけるよう伝え安心していただけるよう努めている</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25 初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	初期対応(電話・来訪など)で、ご本人やご家族の要望や状況をお聞きし、その方の求めるサービスが利用できるような他のサービスを含め対応、助言させていただいている		
26 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	ご本人の状況に応じて、ご家族とも相談しながらサービス利用をさせていただいている。状況に変化があれば、その都度相談しながら対応している		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	入居者と会話するなかで得意なこと、好きなこと、したいことなどを発見し、日々の生活の中で職員が助けていただく場面をつくることでコミュニケーションを図りながら支えあえるような関係をつくれるよう努めている		デイルームでの入居者同士の会話からもヒントを得ながら個別に対応している
28 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族には入居後もさまざまな場面で協力していただいている。ご家族と共にご本人を支えられるよう努めている		例えば入浴拒否されている場合に来訪されたときは、声掛けしていただいたり、受診時に対応していただいたり、行事に参加してもらうなどしている
29 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	入居時には今までの経緯をお聞きし、入居後はご家族と相談させていただきながら、ご本人との関係を継続できるよう支援させていただいている		ご家族がホームでの本人の様子が分かるよう到来訪時や電話、おてがみで報告させていただいている
30 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	本人の状況に応じて可能な限り、ご家族に協力していただきながら、来訪、外出により、関係が継続できるよう支援している		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	利用者同士の性格や関係を把握し、ひとりひとりが孤立しないように、入居者同士が関わり合い支えあえるように努めている		特に、長い時間を過ごすデイルームの席は常に配慮し入居者の状況に合わせて対応している
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	サービス終了後も関係を継続できるよう、ご家族やご本人と話し合いをもっている	○	退去され、在宅に戻られた方で、ショートステイにて再度サービスの利用を開始されたケースもあり
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	基本情報、ご家族からの聞き取り、ご本人との会話の中からなど、希望の意向の把握に努め、検討している		本人、ご家族との会話のなかで小さなきっかけからも本人の意向がくみとれることがあれば、引継ぎし検討している
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前より、本人ご家族に協力頂き、生活歴や既往歴などの経過の把握を基本情報としてまとめている。入居後も把握出来た時点で基本情報への書き込みを継続し、職員間で共有し把握に努めている		入居前より基本情報をもとに、本人の把握、理解を深めるよう努めている
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	入居前の生活パターンをもとに、入居後は環境の変化も考慮しながら生活パターンを総合的に把握できるよう個人記録に記入したり、引継ぎを行なって、現状を把握し過ごしやすい環境作りができるよう努めている		例えば昼夜逆転傾向にあれば、日中の過ごし方を工夫し夜間に安眠できるような環境作りを工夫していくなど、個人個人の現状に対応できるように努めている
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	介護計画作成については、本人、ご家族の意向や希望を反映しながら、生活状況や身体、精神状況を考慮し作成している		本人に変化があれば、その都度引継ぎやミーティング等でも話し合い検討している

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	特別な変化がなければ、定期的に介護計画の評価を行い、ご家族には現状をお伝えしている。見直し以前に変化がある場合は、その都度話し合い、検討している		本人に変化があれば、その都度引継ぎやミーティング等でも話し合い検討している
38 個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	毎日、介護計画に基づき記録や状況、状態を記録することで、介護計画の評価、見直しや介護に活かしている		個人記録の様式については、グルー全体で見直しをすることもあり、より分かりやすいように努めている
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	本人やご家族の状況や要望に応じて、散歩や買い物、受診、散髪などの対応を行っている		空き居室を利用し、ショートステイを行なった
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 地域資源との協働  本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	地域の中で孤立しないよう、また、協力いただけるように、必要に応じた機関に働きかけを行なっている		ボランティア・余興 小学校、町内会・ウエスの収集 警察・行方不明時の対応 消防・救命講習
41 他のサービスの活用支援  本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	地域包括支援センターや他のサービス事業者、ケアマネージャー等と、必要に応じて話し合い支援している		
42 地域包括支援センターとの協働  本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	必要に応じて、地域包括支援センターに協力をいただいている(講習会の参加、情報交換など)		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>入居時には、かかりつけ医、既往歴等を把握し、本人、ご家族といままでの医療が継続できるよう検討し、支援している。受診は、ご家族にも現状の把握をしていただけるように、同行に協力をお願いしている</p>		
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。</p>	<p>必要に応じて、また、引き続き継続できるよう専門医の受診をご家族と一緒に支援している。ホームでの状況を伝え、常に相談できる関係を築くよう努めている</p>		<p>主治医にも認知症の状況が分かりやすいように報告するなど連携し、ご本人との関係が継続できるよう努めている</p>
45	<p>看護職との協働</p> <p>事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p>	<p>病院に協力を得て、看護職員が定期的に、また必要時に訪問していただいている。馴染みの関係をつくることで、入居者が安心して医療を受けられるように支援している</p>		<p>定期的に入居者ひとりひとりと対話しながら健康管理を行なっている。日常のささいなことでも相談できる関係ができています</p>
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。</p>	<p>入院した場合は、病院関係者やご家族と連携し、早期の退院にむけた対応を心掛けている。本人の不安、混乱が和らぐよう、できるだけ様子をみに伺い声掛けを行なっている</p>		
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。</p>	<p>入居時に、ご希望があれば終末期の対応をさせていただいている旨をお伝えしている。本人の状況に応じて、主治医、ご家族と共に、重度化した場合や終末期に対する要望や対応をその都度検討し、準備をしている。</p>		
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。</p>	<p>主治医、ご家族とその都度相談、検討し出来るだけ意向にそった対応が出来るよう努めている。状況の変化に対応できるように主治医の指示のもと準備をしている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>49 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	<p>ご家族、関係機関の職員などと、十分に話し合いをし、本人の環境の変化などに対応できるように情報交換を行なっている。住み替え後も、何かあれば相談を受ける体制があることを伝えている</p>		
<p>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
<p>50 プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	<p>個人情報の取り扱いには十分配慮している。本人の誇りを損ねるような対応や言葉かけのないよう努めている</p>		
<p>51 利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	<p>日々の生活の言動や表情、対話の中で本人の気持ち、希望などをくみとったり、ご家族に伝え相談したりしながら、自己決定や納得しながら暮らせるように支援している</p>		
<p>52 日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>本人のペースを把握したうえで、その日の状態や状況に対応できるよう努めている。</p>		<p>入浴、食事、睡眠など、ホームの流れではなく、本人のペースで出来る限り過ごせるように、職員の状況を変化させている</p>
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
<p>53 身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	<p>入居前から利用している理容師に協力頂いたり、入居者の状況に応じては、ご家族に相談し職員が散髪をしたりしている。おしゃれに関しては、ご家族が協力して下さり、好みの服を用意されたり、その時の状態に合わせて着やすいものを準備して下さったりしている</p>		
<p>54 食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	<p>入居者の「できる」ことを見極めたうえで、食事の盛り付け、おしぼりたみ、食器拭きなどお手伝いいただいている。職員も一緒に食事をとり、会話をもちながら食事ができるようにしている。個人の好き嫌いを把握し、嫌いなものは代替品を用意している</p>		<p>例えば、食事したことを忘れてしまう方には、食事の用意や片付けを手伝っていただくことで、「食事」をした記憶を少しでもとどめておけるように支援している</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	個人的な趣向のものに関しては、ご家族に協力を得て用意していただき、自己管理、またはホームで預かり、飲んだり食べたりできるように支援している。行事の際には、ノンアルコールビールを提示するなどお酒やタバコも楽しめるように、ひとりひとりに合わせた支援している		タバコに関しては、建物内が禁煙のため、玄関外のベンチで外気浴を兼ねて利用していただいている
56	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	個人の排泄パターンを職員間で共有し、出来るだけトイレで排泄が出来るように声掛け、誘導をしている。		全介助で尿意、便意がない、または意思表示の出来ない方も、出来る限りトイレ誘導し2名介助でトイレで排泄できるよう支援している
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	開設時より、入浴については入居者の状況に応じて曜日、日にち、時間などを検討しながら変更してきている。ひとりずつ、ゆっくり入れるように配慮している		現在は、曜日を指定することで、入居者の混乱がほとんどなくなっている
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	本人のペースや、状況に応じて休息できるように配慮している。睡眠については、ひとりひとりのパターンをつかみ、出来る限り安眠できるように日中の状況も含めた支援に努めている		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	個人に合わせた支援を行なっている。お手伝いをするを楽しみとされている方、散歩に行きたい方、タバコを吸いたい方、外を眺める方など、これまでの生活歴や現在の状況に応じた役割、楽しみ、息抜きなどができるように支援している		毎月、行事を計画している。その時々入居者の状況に応じて行事の変更などもある。行事によっては個人で楽しめるものや全員で参加できるものなど職員が検討し年間行事予定を立てている
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ご家族には、個人でのお金の所持については紛失の可能性があり、ホームでも完全に管理が出来ない旨を了承していただいた上で所持していただいたり、個人の状況に応じて対応している		ご家族が、小銭を持っていると落ち着くと思いますとのことで、用意していただいたりする場合もある

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	ひとりひとりの希望に出来るだけ答えられるように散歩や買い物または帰宅願望に対応し出掛けている。夏場は、天気の良い日は外気浴を兼ねておやつの中には戸外に出るよう努めている		近くに大きな公園があり、散歩のときの良いコースになっている。森林浴が気軽にできることもあり、入居者にも喜ばれている。ご家族と夏場は毎日出掛けられる方もいる
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	ご家族に協力していただき、馴染みの場所や、ホームでは行けないところにも外出、外泊されている		
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している。	本人の意向や希望にそって支援している。ご家族から毎日日本人に電話をかけてくれるケースもある。ホームでは、暑中見舞い、年賀状を入居者が作成し、ご家族宛に出している		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	入居時にも、なじみの方々が来訪していただけるようお話をさせていただいている。来訪時は居室やダイルームなど、好きな場所で気軽に面会できるよう配慮している		
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体、精神的に必要な場合を除き、身体拘束のないケアを実践している。職員間で身体拘束となる具体的な行為を理解できるよう、ミーティングでも話し合い、検討している。身体拘束が必要な場合は、ご家族に説明し了承を得て同意書を交わしている		例えば、ベッドより転落の危険がある方の場合、床にベッドマットを降ろして臥床していただくなどの工夫をしている
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	グループホームが複合施設の中のひとつのため、外玄関はオートロックになっている。ホームの内玄関は夜間のみ施錠している。居室に職員が鍵をかけることはないが、本人が施錠できるように鍵はついている		グループホームの内玄関は、出入りが分かるように鈴をつけている。鈴が鳴った場合は、必ず内玄関の確認をしている

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>67 利用者の安全確認</p> <p>職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。</p>	<p>常に入居者の居場所を確認しながら、掃除をしたり食事の準備をするなどしている。夜間は巡回を行い、入居者の様子や所在を確認している</p>		
<p>68 注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。</p>	<p>入居者個人の状態に合わせた取り扱いをしている。ご家族にもその旨を伝え本人の状況の変化によって対応している</p>		<p>個人の物については、ホームで管理し使用する場合に渡したりしている場合も有り。ホームの物については、はさみ、包丁などは入居者の手の届かない場所などに保管、管理している</p>
<p>69 事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。</p>	<p>研修やミーティングを通じて知識を深めながら、実践できるよう事故防止に取り組んでいる。入居者個人に合わせた事故防止にも、日々取り組んでいる(タバコの取り扱い、車椅子の保管場所、薬の管理、など)</p>	○	<p>早食いで嘔まずに飲み込みムせて誤嚥や窒息の危険がある方について、食事の形態や配膳方法の検討を施行している</p>
<p>70 急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。</p>	<p>特に、入居者の急変時、火災時、緊急連絡網についてはミーティングや引継ぎ時に確認している。とっさの時にあわてないよう、普段から血圧計や酸素ボンベなども扱っている</p>		<p>同グループ系列で、消防による救命訓練を実施し、緊急時に対応できるよう訓練をしている。同系列のグループホームでは自主研修として各ユニットで検討し発表を行なっている</p>
<p>71 災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。</p>	<p>火災訓練は年2回開催しているが、ミーティングなどでも火災時の動きを確認している。運営推進会議を通じて、地域にある災害時用の水源を消防の方と地域の方が一緒に確認するなどしている。スプリンクラーの設置は平成22年1月に完了</p>	○	<p>施設の消防訓練に、地域の方にも参加していただけるように体制を整えたい</p>
<p>72 リスク対応に関する家族との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。</p>	<p>入居者のその時の状態や状況に合わせ、その都度ご家族にリスクについての説明をさせていただいている。その上で対応を検討しご家族と相談しながら安全に穏やかに生活できるよう支援している</p>		<p>例えば立位出来ないが車椅子より立ち上がり行為のある方については、職員が出来る限り付き添い、気分転換に散歩にでるなど工夫している</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	毎朝血圧、熱、脈拍、排泄、食事、水分など本人の様子や状態を引継ぎし、普段と様子が違う場合には主治医に連絡し受診するなどの対応を速やかに行なえるよう努めている。受診や体調についてはその都度ご家族に連絡を行なっている		
74 服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬の使用目的や副作用について理解し、主治医と連携しながら支援している。		服薬に拒否がある方の場合、出来るだけ拒否が少なくなるように形態を変えてみたり、主治医やご家族と相談しながら支援している
75 便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	水分が十分に摂れているか、カラダを動かしているかなど、毎日の生活リズムの把握と体調や状況に応じて対応している。また、尿、便意のない方でも、出来る限りトイレに座る時間がつくれるよう介助している		個人により、主治医からも指示をいただいております。ホットタオルでマッサージなど、対応を行なっている
76 口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	一人一人の力量を把握し、出来ないことや不十分なところは介助している。清潔に保てるよう支援している		拒否がある場合は時間をおいてみたり、声掛けの方法を変えてみるなど工夫をしている
77 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事については食事量の把握や様子を記録し職員で共有している。好き嫌いを把握し、嫌いなものについては代替品を提示し、バランスがとれるようにしている。水分量も記録し、様子をみているため、必要な水分がどのようにしたら補えるかを個人ごとに検討し支援している		水やお茶が嫌いであり水分が取れない方は、ご家族と相談し、好みの飲み物を差し入れていただいたり確保できるように支援している
78 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症についてマニュアルもあり、ご家族や来訪者にも協力して頂き、予防や実行をしている。		入居者は外出から帰宅した際は必ず手洗い、うがいをいただいている。職員は出勤時、外出後はうがい手洗いを行なっている。来訪者は必要に応じてマスクの着用をお願いしたり、うがい手洗いをおこなっていただいている

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
79	<p>食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。</p>	<p>台所、調理器具、フキン等は、毎日数回消毒している。食材は業者から安全なものを前日に納入している</p>		<p>職員は手洗いをこまめに行い、調味料などの消費期限を管理。残った食事についてはその都度破棄している</p>
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。</p>	<p>夏には玄関前の花壇に花や置物をし、通りすぎる方々にも楽しんでいただけるよう工夫している。複合施設なため、グループホームがわかりやすい様に、自動ドアに大きく事業所名を貼ってある</p>		
81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>共用空間については、誰も見ていないときはテレビを消す、陽が入りすぎる場合はカーテンをしめるなど入居者に合わせて対応している。窓辺には花や木を置き、ひな祭りには雛人形を飾るなど、季節を感じていただけるよう努めている</p>		<p>窓近くの壁面を利用し、「木」を作り、入居者と一緒に桜や葉を季節ごとに貼り変えている</p>
82	<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>ホーム内に、一人掛けのイスやソファ、食卓以外のテーブルなどを点々と設置し、思い思いに過ごせるように配慮している。</p>		
83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>ご家族に協力して頂き、出来る限り使い慣れた家具や思い出の品々を用意していただいている。また、本人の居室での動線を考慮し、使いやすいように状況に応じて変化させるなど対応している</p>		
84	<p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のおよみがなく換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。</p>	<p>排泄臭には、オムツ類は新聞紙に包んで捨て、居室やトイレにこもった臭いは換気や無臭の消臭剤で対応している。冬場も含め、毎朝ホーム内の窓を開けて換気している。ホーム内はどこも同じ温度に保てるように管理している。冬場は乾燥するため、湿度にも配慮している</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>共用スペース、居室ともに車椅子や歩行器を使用し自力で移動できる場合は、移動の妨げにならないよう空間の確保をしている。共用スペース、トイレには手すりを設置。トイレは3箇所のうち2箇所が身障者用になっている。ホーム内は全てバリアフリーになっている</p>	
86	<p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>	<p>トイレや居室がわからない場合は、目印をつけたり、食卓でごはんを食べない場合は、座ったところで食べられるように工夫したりなど、個々人に合わせた環境作りに努めている</p>	
87	<p>建物の外回りや空間の活用</p> <p>建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>	<p>正面玄関にはベンチを設置したり花壇をつくっている。裏庭には畑を作り、収穫できるようにしている。正面玄関には日よけがあるため、夏場は暑い日でも外気浴ができる</p>	

. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
88 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ほぼ全ての利用者</li> <li>○ 利用者の2 / 3くらい</li> <li>○ 利用者の1 / 3くらい</li> <li>○ ほとんど掴んでいない</li> </ul>
89 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 毎日ある</li> <li>○ 数日に1回程度ある</li> <li>○ たまにある</li> <li>○ ほとんどない</li> </ul>
90 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ほぼ全ての利用者</li> <li>○ 利用者の2 / 3くらい</li> <li>○ 利用者の1 / 3くらい</li> <li>○ ほとんどいない</li> </ul>
91 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ほぼ全ての利用者</li> <li>○ 利用者の2 / 3くらい</li> <li>○ 利用者の1 / 3くらい</li> <li>○ ほとんどいない</li> </ul>
92 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ほぼ全ての利用者</li> <li>○ 利用者の2 / 3くらい</li> <li>○ 利用者の1 / 3くらい</li> <li>○ ほとんどいない</li> </ul>
93 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ほぼ全ての利用者</li> <li>○ 利用者の2 / 3くらい</li> <li>○ 利用者の1 / 3くらい</li> <li>○ ほとんどいない</li> </ul>
94 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ほぼ全ての利用者</li> <li>○ 利用者の2 / 3くらい</li> <li>○ 利用者の1 / 3くらい</li> <li>○ ほとんどいない</li> </ul>
95 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ほぼ全ての家族</li> <li>○ 家族の2 / 3くらい</li> <li>○ 家族の1 / 3くらい</li> <li>○ ほとんどできていない</li> </ul>
96 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ほぼ毎日のように</li> <li>○ 数日に1回程度</li> <li>○ たまに</li> <li>○ ほとんどない</li> </ul>

. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
97	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている</p> <p> <input type="radio"/> 大いに増えている  <input type="radio"/> 少しずつ増えている  <input type="radio"/> あまり増えていない  <input type="radio"/> 全くいない </p>
98	<p>職員は、生き生きと働いている</p> <p> <input type="radio"/> ほぼ全ての職員が  <input type="radio"/> 職員の2 / 3くらいが  <input type="radio"/> 職員の1 / 3くらいが  <input type="radio"/> ほとんどいない </p>
99	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p> <input type="radio"/> ほぼ全ての利用者が  <input type="radio"/> 利用者の2 / 3くらいが  <input type="radio"/> 利用者の1 / 3くらいが  <input type="radio"/> ほとんどいない </p>
100	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p> <input type="radio"/> ほぼ全ての家族等が  <input type="radio"/> 家族等の2 / 3くらいが  <input type="radio"/> 家族等の1 / 3くらいが  <input type="radio"/> ほとんどいない </p>

【特に力を入れている点・アピールしたい点】